

平成 25 年度 優秀省エネルギー機器表彰 「日本機械工業連合会会長賞」受賞

～ 業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機 SFS-322HP ～

株式会社 TOSEI（東芝テックグループ、代表取締役社長：荻原 ^{おぎはら} 優 ^{ゆたか}、本社：静岡県伊豆の国市、以下「TOSEI」）と中部電力株式会社（本社：愛知県名古屋市、以下「中部電力」）、関西電力株式会社（本社：大阪府大阪市、以下「関西電力」）は、一般社団法人日本機械工業連合会が主催する第 34 回（平成 25 年度）優秀省エネルギー機器表彰において「日本機械工業連合会会長賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

この度の受賞機器「業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機 SFS-322HP」は TOSEI と中部電力、関西電力が共同開発し、平成 25 年 7 月に TOSEI より発売を開始している製品であり、ランニングコストおよび CO₂ 排出量を大幅に削減可能な機器として、その優れた省エネ性能が高く評価されて、今回の受賞となりました。

当社は今後とも環境へ十分配慮した、省エネルギー機器の開発に努めてまいります。

◆受賞機器の紹介

病院や老人福祉施設などで使用されている業務用衣類洗濯乾燥機の乾燥熱源は主にガスまたは蒸気を使用されており、熱源が現状のままでは大幅な省エネは難しいとされています。そこで本機では従来の業務用機と同等の最大 115℃の乾燥風を生成可能なヒートポンプを搭載することで、従来機と同等の乾燥性能を、より省エネルギーで実現しました。なお、搭載するヒートポンプの冷媒には、不燃性で地球温暖化係数が 1 の自然冷媒 (CO₂) を採用しており、安全性と環境性に優れています。

また、新たに開発した「水フィルター一体型熱交換器」により、乾燥に伴い発生する糸くずの除去性能を向上し、乾燥空気の室内放出または完全循環を可能とするとともに、毎日のフィルター掃除が不要となり、大幅な省力化を実現しました。

本機 1 台で 40 床程度の施設で発生する洗濯物を処理することができ、従来機 (LP ガス式) と比較すると原油換算にて年間 1.0kℓのエネルギー使用量が削減(削減率 14%)でき、年間 4.8 トンの CO₂ 排出量が削減(削減率 29%)できます。

ランニングコストは年間 360 千円の削減が期待でき、本機導入の増分費用は約 4.6 年で回収できます。なお本製品の法定耐用年数は 13 年であり、製品寿命からも経済性は高いといえます。

計算条件:

想定使用環境：老人福祉施設、入居者 40 名

主な被洗物：一般衣類、バスタオル

稼働条件：1 日 7 ワッシャー、365 日/年稼働

運転コース：洗濯乾燥コース、標準高温乾燥モード

【エネルギー単価】

電気料金：18 円/kWh、LPG 料金：330 円/Sm³

【CO₂ 排出係数】

電気：0.476kg-CO₂/kWh、LPG：6.6kg-CO₂/Sm³



業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機 SFS-322HP

◆ 優秀省エネルギー機器表彰制度について

優秀省エネルギー機器表彰制度は、優秀な省エネルギー機器を開発・実用化することにより、エネルギーの効率的利用の推進に貢献していると認められる者および企業等を表彰する制度であり、もって優秀な省エネルギー機器の普及および開発の促進を図るものです。

参考URL：一般社団法人日本機械工業連合会
<http://www.jmf.or.jp/japanese/commendations/energy/0.html>



優秀省エネルギー機器

◆ 製品に関するお問い合わせおよび資料請求先

株式会社 TOSEI 商品部 商品企画課 (担当：森田 祐規子)
住所：静岡県伊豆の国市中島 244
TEL：0558-76-2383 FAX：0558-76-0934